

RICOH Smart Huddle 社内実践事例



次の“はたらく”のあたりまえを創るコンセプト「RICOH Smart Huddle」をリコージャパン社内で実践。自由に選べるワークスタイルとFace to Faceの一体感を、リアルでもリモートでも。

リコージャパン株式会社 晴海トリトン事業所

Company Profile

- 主な業務内容：様々な業種における経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションを提供。複合機（MFP）やプリンターなどの画像機器・ICT関連商品の販売およびサポート。システムインテグレーション・ソフトウェア設計・開発など。
- URL（ViCreA 晴海）：<https://www.ricoh.co.jp/sales/liveoffice/map/vicrea-harumi>



リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
ICT事業センター 事業統括室 計画グループ
矢島 淳也

リモートワークが定着しハイブリッドミーティングも急増。リアル・リモートそれぞれの良さが共存する新しいワークスタイルが必要になっていました。

ワークプレイスデザインのノウハウと、多様なデジタルソリューションを融合することで「次の“はたらく”のあたりまえを創る」コンセプト、RICOH Smart Huddle。リコージャパンではこのコンセプトの下、晴海トリトン事業所のリニューアルを行いました。

矢島「コロナを機に働き方が多様化し、事業所の在り方も見直す必要がありました。特に課題となっていたのは、ハイブリッドミーティングの急増による会議室不足です。本当はオフィスでみんなと一緒に仕事がしたい。でも、入社しても会議室は足りないし……。そんな思いから入社を躊躇する社員もいたようです。そこで、リモートならではの利便性は保ちながら、Face to Faceならではの生産性の高いコミュニケーションも取り戻していくために、事業所をリニューアルし、これからの時代に求められる新しい働き方を実践していきたいと考えました。」

リニューアル前の課題

リニューアル後の効果

社員同士のコミュニケーションを活性化したい。



リアル・リモートを問わず社員同士が柔軟につながりあえるようになり、生産性が向上。

会議室不足を解消したい。



レイアウトや什器を工夫し、複数のミーティングエリアを新設。

大規模な会議やハイブリッドセミナーの準備にかかる時間を短縮したい。



大型会議室にWeb会議専用のシステムを実装。手軽に質の高い会議開催が可能に。

リアルでもリモートでもディスカッションが弾む環境を構築。「入社して良かった！」と思ってもらえる工夫も盛り込んでいます。

最適なデバイスの実装により、高品質なWeb会議を手軽に開催することも可能に

晴海トリトン事業所をリニューアルし、RICOH Smart Huddleを実装するエリアが誕生しました。

柳瀬「会議室不足に対しては、レイアウトや什器を工夫することで、限られたスペースを最大限活用し、複数のミーティングルームを新設しました。また、リモートワークが定着した今、リアルだからこそその価値を実感できるように、グリーンやアロマで心地よい空間を演出したり、他のチームの熱量や雰囲気を感じられるように壁を設けない等の工夫も盛り込んでいます。」

平田「大会議室BlueOceanには、Web会議システムを常設し、高品質な会議を手軽に開催できるようにしています。複数のプロジェクターを使い分けることで、資料とリモート参加者の様子を同時に大きく投影する



リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション
企画センター
スマートハドル企画室
事業戦略グループ
柳瀬 美幸



リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション
企画センター
スマートハドル企画室
スマートハドル営業・PMグループ
平田 佳之

こともできますし、自動追尾カメラと会場全体を映すカメラを組み合わせ臨場感のある映像を配信することも可能です。リアル・リモートを問わず、参加者の満足度向上につながっています。」

矢島「晴海トリトン事業所のリニューアルは、これで完成したわけではありません。引き続き社内実践を重ね、RICOH Smart Huddleをさらに進化させていきます。そして、社内実践から生み出される価値や新しい働き方を、お客様企業へご提案していくことを目指しています。」



囲まれた形状により一体感がアップ。Face to Face ならではの密なディスカッションを促進。



Web会議用のデバイスが実装されており、リモート先と臨場感のある打ち合わせをすぐに開始できる。



B工事*不要なパネルを活用したミーティングルーム。
*B工事：テナントの専有部分ではあるものの、建物全体に影響を及ぼす工事。



プロジェクターでリモート参加者の様子を大きく投影し一体感を演出。



各種デバイスの操作システムをワゴンに集約。最適な空間を手軽に構築することが可能。



複合機の近くに雑誌やテーブルを配置し、偶発的な人、モノ、情報の出会いを創出。

社内実践のソリューション事例を、さらに詳しく、Webで。

<https://www.ricoh.co.jp/case/2410-ricoh-japan>

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<https://www.ricoh.co.jp>